

発行責任者 東京都立向丘高等学校同窓会
 会 長 宮久保 渡
 編 集 会報委員会
 事務局 〒113-0023
 文京区向丘 1-11-18 向丘高校内
 T E L 03-3811-2022
 F A X 03-3812-4055



世界無形文化遺産 高山祭 名誉顧問 小川力洋氏 撮影

同窓会活動のご案内 (やよいい会)

①同窓会総会

平成 29 年 4 月 23 日 (日)
 受付 11:30 ~
 開始 12:00 ~
 会務・会計等の報告・審議
 懇親会 12:30 ~ 15:00
 場所 駒込「源気丸」
 (旧磯太郎)
 北区西ヶ原 1-55-27
 TEL 03-5961-5011
 会費 ¥2,000 円 (他会補助)
 申込方法 同封の振込用紙にて、
 4 月 13 日 (木) まで
 にお振り込み下さい。

②全国大会

やよいい会 川越市大会
 平成 29 年 5 月 28 日 (日)
 時間 12:00 ~
 場所 川越「福登美」
 埼玉県川越市新富町 1-3
 TEL. 049-222-2913 (代)
 西武新宿線「本川越」駅
 出口より徒歩 3 分
 東武東上線「川越市」駅
 出口より徒歩 7 分
 JR「川越」駅 東口より徒歩 12 分
 会費 ¥3,000 円 (他会補助)
 申込方法 同封の振込用紙にて
 5 月 10 日 (水) まで
 にお振り込み下さい。

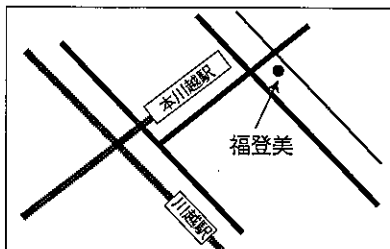
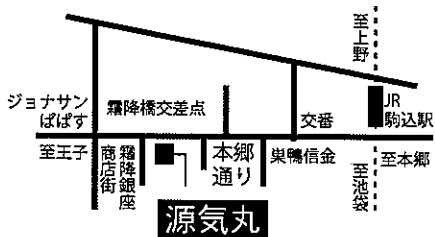
③学校訪問 (ホームカミング)

平成 29 年 9 月 9 日 (土)
 時間 10:00 ~ 15:00
 9 月 10 日 (日)
 時間 9:30 ~ 15:00

母校向陵祭 (文化祭) 音楽・演劇
 ・研究発表あり P T A 展示室にて同
 窓会作品展示あり。一般会員の出展
 歓迎 (要連絡。宮久保会長まで)



総合問合せ先
 〒171-0032
 豊島区雑司が谷 3-14-5
 東京都立向丘高等学校同窓会
 会長 宮久保 渡
 TEL 090-4597-0475
 メール miyakubo1405@yahoo.co.jp
 ホームページ
 東京都立向丘高等学校同窓会



ご挨拶

今年、高校創立七十周年を迎え、同窓会の発展と母校及び在校生の応援のため、皆様方のご支援を宜しくお願いします！



同窓会会長 宮久保 渡

一、はじめに

昭和四十五年卒の宮久保渡です。昨年に引き続き、同窓会財政の充実、名簿の整備、会報「やよい」の発行、校長先生をはじめ、学校の先生方及びPTAとの緊密な関係を目指してきました。そして何よりも母校及び在校生への応援を心掛けてきました。等々、従来の取り組みを踏まえて活動を展開してきました。

昨年卒業生全員に加入して頂きました。先生方のご協力を感謝を申し上げます。

- ① 総会への参加人数が少ない。
- ② 役員と会員・会員同士の交流が会全体に反映されていない。
- ③ 全体を網羅する幹事会体制の未整備。

④ 同窓会・同期会などの情報がそれぞれの会員に対し充分行き渡っていないなど、があります。これらの改善を目差し、併せて母校と在校生の応援を目差して行きたいと考えています。会員の皆様のご協力を心からお願いいたします。

二、総会・懇親会にご参加を
毎年、会報にて同窓会総会日を発表し、事業報告・会計報告・次年度計画の審議などを行い、議事を決議しております。今年も、学校ではなく、外の会場で総会を開催いたします。一般的なパーティ形式です。(お酒あり)

同期会・クラス会・クラブのOB会を開催したいと考えている皆様は、是非ご参加下さい。同窓会で応援を致します。

多くの皆様が参加されますようお願い致します。

また、全国大会・今年は、埼玉県川越市で開催致します。埼玉県にお住まいの方は、こちらにもご参加下さい。

三、入会金・年会費の拝受
入会金にしましては、一万有るの会員の皆様に、会報発行・発送をさせて頂いております。

年会費のご協力によりまして、会の運営が賄われています。貴重な財産として大切に、かつ有効に活用させて頂こうと感謝申し上げます。

尚一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

四、ホームページの充実及び会報「やよい」の全員配布の継続

二十五年度中に、同窓会独自のホームページを作成致しました。

まだまだ不十分ですが、「校歌」、過去のを含め「会報紙やよい」の掲載、また、思い出の写真集として卒業時のアルバムを掲載しました。

これは、個人情報保護を確保する立場から「氏名の不掲載」「写真の大きさも本人が見て、かろうじて判る程度」など配慮しています。

皆様、卒業アルバムをお貸し頂きたいと思います。

五、今年、高校創立七十周年を迎えます。

既に、学校・PTA・同窓会と一緒に準備委員会を立ち上げています。是非、会員の皆様のお知恵、ご協力をお願いしたいと思います。

どうか、会員の皆さま宜しくお願いします。



創立七十周年を迎える 向丘高校に着任して



校長 柴原 爾

都立向丘高等学校同窓会員の皆さま、日頃より母校・向丘高等学校へのご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。

この度、向丘高等学校同窓会報「やよい」に初めて寄稿させていただきます。

私は、平成二十八年四月一日に、前校長の神能 精一先生の後任として向丘高等学校に着任いたしました校長の柴原爾(くわはら ちかし)と申します。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

これまでの勤務校は西部地区が多く、区部では杉並区、練馬区まででした。

しかし、この度の異動では一気に山手線の内側の学校、それも文京区というまさに「文教の地」にあり、平成二十九年には創立七十周年を迎える伝統ある向丘高等学校に決まり、非常に身が引き締まる思いです。

引継ぎのために初めて本校を訪れたとき、校舎がきれいに保たれていて、校内のいたるところに、生徒の作品や進路部発信の進路情報などが展示、掲示されている様子を見て、本校の生徒像(二様なことに、豊かな発想で真剣に取り組む生徒の様子)や、学校として目指している方向性(二生徒の進

路希望実現のための強力な応援団としての様子)などの雰囲気を感じ取るこ
とができました。

初めて本校を訪れてから約一年が経過した今、その時の感覚に間違いはなかったと思っています。そして本校は今、新しいステージに向かう分岐点の上にあると私は考えています。東京都教育委員会からは「学習指導・進路指導に関するモデル校」の指定を平成二十八年度から受けています。それはこれまでの数年間に、変革を進めてきた先生方を始め、生徒及び保護者の皆様の努力が実を結んでいるからです。その実をさらに増やし、よりよいものとするために、力を注ぎたいと考えております。

さて、本拙文のタイトルにもさせていただきました創立七十周年についてですが、平成二十九年九月二十九(金)に、文京シビックホールにて記念式典を執り行う予定でおります。

実行委員長は同窓会の宮久保渡会長にお引き受けいただき、またPTAの皆様のお力もお貸しいただき、着々と準備を進めております。六十周年後の十年間の出来事等に主なスポットを当てての企画となる予定です。同窓会の多くの皆様にも是非足をお運びいただき、新しいステージに進む向丘高校の躍進する姿をご覧いただき、感じていただけるとうれしく存じます。

最後になりましたが、同窓会の皆様には創立七十周年の記念品と

してグランドピアノを寄贈していただきました。とても立派なピアノで、今年の三年生の卒業式に間に合うようにと早めに贈呈していただきました。感謝申し上げます。今、都立高校は多方面から改革を求められているところですが、本校においてはまずは生徒のためという軸をしっかり意識し、そのうえで様々なことにチャレンジしていく所存でございます。

今後とも皆様方からのご支援を賜りますことをお願い申し上げます。また皆様のご健康、ご活躍を祈念し、結びとさせていただきます。

期待される高校として



副校長
杉 明子

向丘高校同窓会の皆様、平素より、様々な御支援、御協力をありがとうございます。心より感謝申し上げます。

平成二十九年度に、向丘高等学校は、創立七十周年を迎えます。九月に式典を執り行いますので、同窓生の皆様、是非お越し下さい。この式典に先立ちまして、同窓会より記念品として、立派な「グランドピアノ」を寄贈いただきました。大変高価なものをありがとうございます。ありがとうございました。

既に納品いただき体育館舞台上に、設置させていただいています。かなり年代を重ねた体育館の中で、異彩を放っています。このピアノの伴奏で、生徒たちは毎学期校歌を歌うことになりました。卒業式では感慨がこもった歌声となることでしょう。

さて、本校には、現在生徒たちが歌っている校歌の他に「讃歌」と呼ばれている歌があります。宮久保同窓会長は、こちらの歌も歌ってこられたそうで、今でもしっかり覚えていらつしやいます。私も聴かせていただきましたが、とてもきれいな曲でした。同窓会のホームページにも載っています。この「讃歌」を七十周年式典の時に、何かの形として披露できたら良いなと思っています。同窓生の皆様にも御協力いただかかもしれませんが、よろしくお願ひいたします。

この同窓会誌「やよい」もホームページで紹介されていますが、周年行事に作成する記念誌も、ウェブ上でご覧いただけるようにしたいと考えています。六十周年からの十年間をまとめます。ぜひご覧ください。来年度九月頃には、掲載予定です。

平成九年に都立高校改革推進計画が打ち出されて以降、新しいタイプの高校の設置、学区の撤廃などにより、都立高校の大学等進路実績の向上や入学選抜の倍率の回復がありました。多くの都立高校が様々な取組を行い、頑張っています。

平成二十四年からは、新たな十年間の長期計画が掲げられ、東京都全体で、社会人として自立できる人材、世界で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

向丘高校も、「学習指導・進路指導に関するモデル校」としての大きな責任を担っています。教員の努力、そして宮久保同窓会長はじめ、多くの皆様の御協力や御支援により、発展を重ねているところです。

気になるのは、都立校生の意識調査では「留学したいか」の設問に否定的な回答をした生徒が四十七%強、「海外で働きたいか」に「そう思わない」が四十九%もいることです。本校の生徒はどうでしょう?これからは應ずることなく海外へ出て、広い世界を体験し、多様な価値観に触れることが非常に大切だと思われまます。向丘に入学してくる生徒は、伝統的に活発で独創的です。私たちは生徒の良さを伸ばしつつ、挑戦する精神や主体性を育む教育を今後進めていく所存です。

向丘高校の伝統を受け継ぎながら、生徒の一層の活躍のために教職員一同尽力して参ります。皆様の御支援を今後ともよろしくお願ひいたします。



同窓会総会報告

同窓会は、平成二十八年四月二十四日(日)十二時より、駒込駅近くの和食店で開催されました。

総会は、杉浦副会長の司会で開始し、宮久保会長の挨拶、仙谷幹事長の音頭による、校歌斉唱を経て、議事に入りました。議長は、規約に従い、宮久保会長がつとめ
①報告事項 ア、事業報告(笹山書記)イ、決算・監査報告(尾道会計・三田監事) それぞれ承認されました。引き続き、②審議事項 ア、事業計画(佐々木書記)イ、予算案(尾道会計)ウ、役員選任(宮久保会長)より、提案をいたしました。それぞれの審議事項についても、満場一致で承認されました。

続いて、懇親会に入り、栗原校長よりご挨拶を受け、小川名誉顧問



平成 28 年 4 月 24 日於駒込「源気丸」

問より、乾杯の発声をもって、和気あいあいの中で進行していきました。来賓として、神能前校長、杉淵副校長、熊谷 P T A 会長、山口元 P T A 会長のご臨席を戴きました。

参加された皆さんは、それぞれ旧交を深め、時間を忘れるほど、懇談いたしました。参加された皆様、有難うございました。今年も友人をお誘い参加されますようお願いいたします。

第六十六回全国高等学校 P T A 連合会大会

千葉 大会



P T A 会長 古仲 和美

平成二十八年度 P T A 会長を務めさせていた、だきました古仲です。向丘高校の保護者として同窓会の皆さまには、子供達へのご協力本当に感謝いたしております。

この一年間 P T A 会長として様々な経験をさせていた、だきました。学校行事もさることながら、他校との連合会などの行事があります。

第二十八回東京地区連合会大会では、夜回り先生こと水谷修氏の基調講演がありました。先生は二十五年ほど前から夜回りを始め、夜今も池袋・渋谷・六本木など、夜

の街で過ごす中高生に声を掛けています。私たちにはあまり縁がない夜の世界、非行が多く、危険です。また、部屋の中で自傷行為や引きこもる子供達を夜回りで救うことは出来ないという事から、メールや電話で相談を受け、対応していません。成長期にある子供達は何かのキツカケで登校拒否になつてしまつたりします。そして今、攻撃的な事が昼の世界にも増えていると危惧している先生の言葉を紹介させていただきます。

「産んでくれてありがとうと言われてこそ親。生徒たちにはありがとうと尊敬されてこそ、はじめて先生と言える。」

「ダメな人、ダメな子、だめだ、だめだと否定され続けたら、自律神経失調症やうつ病になる。」
「褒めた数より叱つた数が多いのでは子供達は生きる力が付かない。」

「汚い言葉は人を汚す。目の輝きを見たければ褒めてください。」

家庭の中で心では思っているにもかかわらず出来ないう事で、心に突き刺さりました。自分ほどのくらしい褒めて子育てをしているのだからか。どうしてもダメなところが目につき口に出してしまいます。大人になつていて自分でさえ、やはり周りの方にダメと言われたり、怒られてしまうと、とても落ち込みます。

八月には第六十六回全国高等学校 P T A 連合会千葉大会に参加

させていた、だきました。全国の P T A 関係者一万人以上出席して、高校生の教育についてなど、議論がされました。これほどの多くの方が P T A 活動に関わり、集まるという事に改めて驚きました。

「再発見！愛」今こそ信じよう愛の絆」という大会テーマのもと、講演や各 P T A の事例発表など各会場でたくさんの話を聞くことが出来ました。また、この大会では他校の P T A の方々と情報交換もでき、親睦が深まりました。

私は、たくさんの方々の行事に参加し、貴重な経験をすることができました。ありがとうございます。

高校生というのは、社会人になる一歩手前、子供として最後の親や周りの大人が関与していく時期でもあると感じています。これからも高校生を見守り、お力添えを頂きますよう、よろしくお願ひ致します。



同期会・クラス会だより

昭和三十七年卒

同期会 (第九回) 開催

一、日時

二〇一六年九月二十四日 (土)

午後一時〜 午後三時三十分

受付開始午後〇時三十分

開宴午後一時

お開き午後三時三十分

二、場所 後楽園飯店

(1) 開会挨拶と乾杯 十三時

(2) 本日のスケジュール説明

① 各組懇談 十四時まで

② 各組出席者挨拶と

写真撮影十四時〜

(3) 板井先生米寿祝いについてご意見を伺う

(4) 今後の同窓会についてご意見を伺う十五時

・継続か今回で終えるか

・各クラス別に決めるか

・十五時五分

・今回で終了時は余剰金が出た時はどうするか

(5) 中締め 午後三時二十分

(6) 閉会 午後三時三十分

三、九月二十四日 (土) 出席者

五十五名 (A組 七名、B組

十四名、C組九名、D組八名

E組六名、F組十一名)

四、会の模様

小雨降る中を五十五名の方が出

席されました。どうしても同期に



幹事 齋 巖

席されました。どうしても同期に
会いたいと病を押して出席された
方もおられました。皆五十数年前
に戻り話が盛り上がっていました。
今回は、この会を継続するかどうか
かという難しいテーマがありました。
た。寄る年波に勝てず、病気の人が
が多く幹事ができないというのが
理由でした。

いろいろと意見が出ましたが、
ほとんどの方がこの会で皆に会う
のが楽しみということで継続した
いという意見が大勢を占めました。
幹事業務をA組とF組の幹事がバ
ックアップしてくれると申し出が
あり会の継続が決まり、三年後の
再開を約してお開きになり、各ク
ラスとも話足りないのか二次会に
向かいました。

向丘高五十五年会

二〇一六年は企画 (ツアー) が
盛沢山な一年でした。

毎年年明けの一月から世話人

(幹事) 同士で『12/29会』の反

省会兼新年会をやっているのです

が、この席で今年一年間のスケジ

ュールを大まかに決める会と位置

づけ始まるのです。『12/29会』

だけの一回だけでなく春・秋にか

けて気軽に集まれる会が出来ない

か楽しく飲みながら計画を立てて

います。

二〇一六年は、三月に二回のイ

ベントから始まりました。先ずは

初旬に①和光市民マラソン10kmか

らスタートです。例年マラソンは

十一月下旬の川越ハーフマラソン

だけでしたが、春にも足慣らしを

しようと考えてトライです (当日

は寒の戻りで真冬並みの陽気で、

完走した後振舞われた豚汁が絶品

で身も心も温まりました)。その

翌週ですが、共に世話人をやって

いた親友の東條君が移住している

②『鳥取ツアー』を企画しました。

未だ受験生の子供を持つ世話人が

二人いたのですが今年はめでたく

入学と一安心出来たので、合格祝

いを兼ね約三十数年ぶりに泊りが

けでのツアーを企画、東條君とは

現地で合流し約三年振りの再会で

した (鳥取砂丘へ行けなく残念で

した)。

五月下旬、③『日帰りバスツア

ー』を企画。残念ながら参加者が

少なく『長滞ライン下り・SL乗

車』のフリーツアーへ変更、少人

数だったが天候にも恵まれいいツ

アーでした。(阿佐美冷蔵のかき

氷が行列で食べられなく残念だっ

た。赤霧島焼酎は入手が難しい話

題でちよつと盛り上がりました

(笑)

七月初旬、中野君から④『バレ

ー部OB会』に声がかかり『五十

五年会』のルーツである一年B組

会の担任先生である『帯津先生』

に卒業以来の再会です。体調の事

は心配ですが、容姿とお話しぶり

は昔のまま感激しました (佐藤

先生にもお会いできて、何か自分

が一番風貌変わった感否めなかつ

たです)

十月中旬、川越マラソン前に⑤

『調整ラン・川越祭り』を。(戸部

君の調整が順調で圧巻な走りでし

たが、祭り散策中のマス酒が効い

たかいつもの酔っ払いおやじでした

十一月下旬、⑥『川越マラソン』、

参加者は増えませんが天候にも恵

まれ楽しくラン出来ました (A君

は気持ちと裏腹に未だランできた

のにお迎えバス乗車は残念無念で

した。戸部君はやはり圧巻のラン

で次年度は駅伝選手とはれるかな?

そして年の締めくくりに『2/29向丘五十五年会』です。昨年より、ボーリング企画を増やし同窓会を開催していただきます。気軽なスポーツで一体感がありとても和やかにプレーを楽しみました。メインの会では三十名参加いただき、古き良き時代(S五十三〜五十五年)の向丘高校時代に帰り笑みが溢れる嬉しいひと時を過ごすことが出来ました。次年度もより親睦と絆を深め、笑顔が絶えない会を継続していきます。終わりに、二〇一七年度より『やよい会同窓会』の副幹事長を浅野君と共に命じられました。未熟ものですが一生懸命に任務を遂行していく所存です。五月二十八日(日)にはやよい会全国大会が地元の川越で開催ということなので、浅野君と共に諸先輩方に楽しんでいただけるよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願致します。

『五十五年会』世話人(幹事)
代表 浦野良一



アラ還の日々〜ガ丘時代に
思いを馳せつつ

チヨビ、ネコ、エビ、マキ・ブー、馬・鹿、ウシ、イトー、マメ、コージ、サクラ、イチロー・・・ここは上野の動物園かテーマパークか。いつでも会えばすぐさま時空を越えて昭和盛期のガ丘に戻る仲間たち。ガ丘を卒業して二年後、私はニューヨークの大学に留学し、その後もアメリカで就職、結婚しニューヨーク及び周辺州に住み続けて三十七年になるが、今も黄色い声を張り上げ発声練習を繰り返して、皆でハモって Sing Out をしたガ丘のフォークソング・クラブの甘く切ない日々が目につく。毎日下校時間の五時半まで打楽器しながらギターを弾き叩きカントリーウエスタンや四畳半フォーク、流行りの歌を弾き語り、そのまま純喫茶パイオランドに流れては熱い音楽議論を繰り広げた。今思えば何も知らなかった青臭く無知な自分たちに赤面するが、ガ丘で培った絆がその後の米国暮らしでどれほど励みになったことか。

あれから四十年、哀しき哉、会えば「変わらないね。」とうそぶく面々。しかしその実は「我が髪を眺めてみれば白妙の黒く染めにし五十路末かな」「草木も生えぬ石頭、伸びらば伸びる緑の黒髪」

(男性陣心の一句)。「今回も間に合わなかったダイエツト、ままよままよと酒の肴に」「今更に気取るでもなしこの面子、飲んで笑って色恋も無し」(女性陣)。三無主義世代と言われた我々は団塊の世代に遅れること十年、学生運動も下火だった。バブル破裂十年前に社会人となり、気が付けば還暦まであと僅か。遅咲きの数名を除き殆どが子育てを終えた今、「なんかもっと燃えたいなあ。」「皆でコンサート・ステージに立ってスイングしたいなあ」と思うのは自分だけか。帰国時に皆と会っては「Sing Out やろうよ。」と打診するのだが、皆「声が出ない。」「音が取れない。」「ギターの指が動かない。」「等々と応答は鈍い。だが、それでも音楽談話は盛り上がる。」

二〇一六年は四月二十一日に向丘高校卒業生(一九七八年卒)でフォークソング・クラブ八期生の渡辺光治が板長を務める東京丸の内土佐料理の店「弥保希」(ネボケ)にてフォークソング・クラブ限定同窓会を開催。しばしコージ板長のお品書き付き絶品料理を堪能し昔語りと近況報告、四方山話に花を咲かせた。勿論 Sing Out の話も出た。その折にわがクラブの理事会窓口の関本知恵(同期)から向丘高校同窓会より「同窓会支援金を頂けそう・・・」との連絡

があり嬉しいサプライズとなった。

遅くなつてしまいましたが、向丘高校同窓会幹事の皆様に、この寄稿で同窓生支援のお礼を申し上げます。助成金のおかげで当日参加した二人の先輩の還暦祝い、退職、再就職のお祝いのグレードアップに役立てることができました。またアメリカから参加の私も娘(二〇一六年四月当時三歳一ヶ月)へのプレゼントを受けました。卒業年、規模の大小に関わらず同窓会を盛り上げるこのような企画があったことを知り、改めてガ丘愛を深めた一時でした。心から感謝いたします。地球の裏側でまたいつの日かガ丘で歌いたいなと思う今日この頃です。

二〇一六年十二月二十五日
米国ニュージャージー州
ケープメイ郡マルモラ村在住
吉松 純(一九七七年卒)



同窓会だより

一宿一飯が原点

「同窓会への関わり」



前同窓会長

小川 力洋

全国公立高校連合大会が鹿児島や北海道（昭五十七・五十八年）で開催された。私は都立豊島高校PTA会長としての参加だった。定山溪温泉宿でたまたま向丘PTA（平塚寛次郎校長・澤田会長）代表者と同室となり、自分は向丘出身と名乗り、懐古談が弾んだ。母校に同窓会活動があることを初めて聞かされた。卒業以来三十年近く不知だった。次回にはぜひ参加される様にとの要請だった。今日まで如何な広報がなされていたのかと疑義を抱いた。

同期の仲間を誘って参加して見た結果、概ね近時卒業生方をのみ対象に体育館にて、業者依頼で焼ソバ、おでん会で開催していた様子だった。先生方や同窓生との絆がどうだったか不明だった。

後日の上部役員会（昭六十二年）で会長指名をされたのだった。以後、活動、広報のあり方について

思案が始まった。

先ず、名簿作りと会報によつて同窓生意識の高揚から取り掛かったものだが近時の様に個人情報がかつたまま進められず進められたのが幸甚と思われる。第三次総合名簿発行

会報発行も創刊号から第二十六号と年一刊だが順次続けられていた。（平成二十三年退任・顧問）

私が初会長時、新城昇校長の下創立四十周年式典挙行（昭六十二年十一月七日）され定時制の食堂にて祝賀会。

北村正生校長の下、五十周年式典、祝賀会は校舎落成式も兼ねて六階多目的ホールにて広瀬節子氏（OB歌手）を招いて挙行（平成十年十月十日）

戸谷賢司校長の下、六十周年式典、祝賀会は北区「北とびあ」の十七階東武サロンにて挙行（平成十九年十一月十日）された。記念講演として、作家横山秀夫氏（OB）を招き、体育館にて講演頂いた。

祝賀会ではマンドリン演奏・男性歌手・太鼓グループの演奏の盛大なアトラクションでお開きとなった。

京都トレッキング

昭和四十年卒

杉浦 重治

平成二十八年三月二十七日（日）「ぐるっと京都トレイル二〇一六 北山・西山大会」に参加のため、二十六日（土）早朝、新幹線で京都へ、さらにJR奈良線で稲荷駅に。翌日の本番に備えて軽くトレイルニングということで伏見稲荷の参詣でスタート。とにかく外国人が多い。稲荷山、泉涌寺、剣神社とここまでは順調だったが、この先の街中で道に迷った。途中で見つけたうどん屋で京うどんを食べべ

どうにか京都駅に。ホテルでチェックインし、しばし休憩。夕食は京都駅烏丸口近くの店で豆腐をメインにした京料理に舌鼓を打った。ホテルに戻り反省会をして、翌日に備え早めに就寝。

翌朝四時起床。ベットのうえで軽く朝食し、五時二十五分予約しておいたタクシーで貴船口駅まで移動。道路が空いていて受付開始四十分前に到着。早朝の寒さに身体が冷えじつとしてるのが辛かったが、受付開始が早く始まったので事なきを得た。駅前で記念撮影をして三十kmのロングトレイルをスタート。集落を抜け峠への登山口を登り始めたころには体が温ま

ってきた。トレイル標識があり、分岐等の要所には京都府山岳連盟のボランティアの方々親切に導いてくれていた。山道や舗装道路を四時間、辿り着いた沢ノ池では主催者による茶菓の接待があった。ここはドラマの撮影でよく使われるそうだが（殺人事件の現場として）ここから更に一時間で第一ゴールに到着し昼食。

この先の清滝川沿いの遊歩道歩きは陽光に清流が輝き絶景を堪能しながらのハイクとなり大いに癒された。日射が強い舗装道路の急登に喘ぎながら六丁峠を越え嵯峨エリアに入ると著名な寺院が随所であり観光客も多く、速足で歩き去るのが惜しい気がした。渡月橋を渡り、阪急嵐山駅前の第二ゴールでチェックを受け暫く休憩。天気も良く予定より早く着いたので第三ゴールを目指す。

松尾山から渡月橋・桂川越に嵯峨市街を眺め意気揚々として、苔寺谷の第三ゴールに三時四十分五名全員無事到着。九時十七分。参加者カードに到着時刻の記入。スタンプ、元気な笑顔で記念写真（連盟のHPにも掲載された）。さらにここから一・六km上桂駅まで歩き阪急京都線で京都まで戻った。京都タワー地下三階の大浴場



で汗を流しリフレッシュ。建物内のレストランで反省会をした後、新幹線で帰路。
 二日間天気には恵まれた。大会当日は午後から大気不安定で雷もありその予報で、最悪第一ゴールでリタイアも考えていた。山道の視界が開けた個所からは遠くの峰々と京都市街を遠望できた。ロングトレイルであったが、連盟と多くのボランティアの方々のお蔭で安心して歩け、疲労感を少なくしてくれた事に感謝申し上げたい。

知ったかぶり



昭和三十一年卒 山本(福永)越子

むかーし “恥をかいた知ったかぶり三部作”
 まず “補欠”

終戦翌年、私は疎開先から東京に戻り、小学校三年生に転入した。そこは全くの別世界！知人は一人もいなく、私にとってはさながら荒海へ放り込まれた心境である。とても心細い毎日だった。

間もなく運動会の練習が始まる。リレーは地域別に走るとか。私が入れられたグループはこれまた全然知らない先輩ばかりだった。選手はすんなり決まったが問題は “補欠”ホケツ？これはきつと悪い役割に違いない。だって、今まで聞いたことがなかったから…；その判断し、すかさず「私が！」と名乗った。そのときの先輩の顔！こわかった！

次は “ガイエイ”
 フラナガン神父の《少年の町》という映画。ご存じといえばお歳もかなりだと思うが、当時の戦災孤児の面倒をみてくれた神父様の

事を描いた映画である。それを、学校で観に行くことになった。

あの頃、よく学校から映画館へ連れて行ってもらったと思う。いつも身なりの良かったTさんはもう見たと言い、「外野だから見づらいのよ」誇らしげにあたりを見回した。ガイエイ！
 「そうなのよね。屋根がなくて暗くないから…」

「ゴ」
 あ々、またやってしまった。青の時ほど、穴があつたら入りたかったことはない。
 三番目は “幕の内”
 “三根山”というお相撲さんがいらしたころのお話。

その三根山さんは小学生を『場所』に招待して下さっていた。誠之小学校の六年生の番になり、教室はそのことでにぎわった。
 家で話を聞いてきたというUさん、 “三根山” って幕の内なんだって “マクノウチ？また、すかさず私。

「そうなのよね、まだたいしたことないんだって」
 三根山さん、ほんとうにごめんなさい。

ミャンマー 仕事(人的交流)を通しての国際貢献！



昭和四十五年卒 宮久保 渡

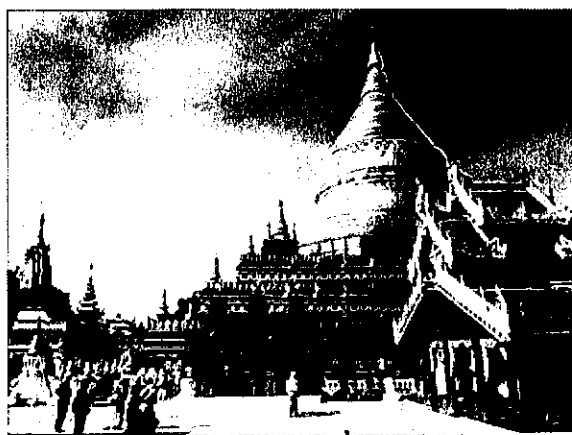
ミャンマー、今日本を始め、欧米諸国、アジア諸国の政府及び企業が注目している国です。

戦前、イギリスの統治下で、その後の軍政権により、欧米・日本など経済制裁そして人的交流が制限されていた国家でした。その国が、前軍政権下での改革・開放政策、そして今、民主化されたアウンサンスーチー政権により、新しい国家として生まれ変わっています。今は、安全で親切的な国です。

今、日本を始め、多くの国・企業が注目をし、大規模な投資を開始しています。ミャンマーの土地・資源の多さ、豊富な人的資源のみならず、アセアンの西側としての重要性も言うまでもありません。

私も、人的交流(実習生制度)を始め仕事として関わりをもっています。そうは言っても、まだこの国のインフラ・法(国際ビジネス)が未成熟ですので、手探りの





状況です。

既に、日本国内に受け入れを進めています。関心がある方は連絡ください。ご紹介します。

観光でも、ホテルその他受入体制が不十分で、他の東南アジア諸国と比較して、価格も高いです。

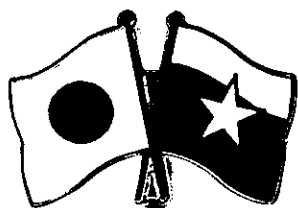
私達は、現地ビジネスパートナーが、旅行会社を経営していますので、直接交渉をしましたので、安く行けましたし、旅行会社が企画しない所へ行きました。

例えば、現地の人々の寄進により寺院が運営する現地介護施設の見学(二五〇〇人の身寄りの無い人々が居住)。夜の食事(二日間)は、ヤンゴンの屋台(軍事政権下

での銃弾痕のあるビル街)でささやかな宴会を開催。そこには、何千人もの客がいました。日本人は私達しかいなかったようです。もともと、胃腸が丈夫でない心配ですが、私は、アルコールで過ぎました。ミャンマービールが安くて美味しいです、日本のキリンビールが買収しましたが。

写真は、バガン遺跡の一つのパゴダ(仏塔)です。ミャンマー内陸部にあり、地平線まで広が約二〇〇〇程あります。どれも、一〇〇〇年位歴史があり、歴代の王様が建立したもので庶民の寄進により最近建てられたものもあります。

私は、あと十年位は、この仕事を続けて行きますが、三〜五年後には、他の東南アジア諸国と同じ位安くて手軽に観光できると思いますが。その際は、是非行ってみてください。



以心伝心

昭和四十年卒

井上 芳子

平成十年に向丘高校から三本の巻紙を頂戴した。「虎の巻」でも「卒業証書」でもない。

鳴外図書館への途上で、新校舎に足が止まる。玄関で「父兄ですか」と問われる。「卒業生です」と名乗る。「自由どうぞ」と。

弾む気持ちで六階へ。本郷台地に聳える高台の眺望を見るかし、無人の教室へ。全体がよく見えて、うしろの黒板の早口言葉を唱える。「青巻紙・赤巻紙・黄巻紙」。板書した生徒さんも、今では同窓のやよい会の一員。

語れめでし真心 久しき昔の歌え床し調べを 過ぎし日の昔の
(ベイリー作曲 近藤朔風)
「ロングロングアゴ」の変奏曲がかけ廻る。

変遷を辿り、焼野原の本郷界限を転々とした母校。光の庭と名付けられた正面中庭には、ポールを掲げた白い少女像は曾てのまま健在。

唐草模様の青巻紙を伝授してくれたのは、明代の青い絵皿の中で説法している月下仙人。平成の世に建設現場から出土した陶器。向

丘は地の底にも宝が眠る。トロツコで移築された若竹寮や屋上の天体観測ドームは今も無い。

青巻紙を繙くと、A組のロングホームルームの光景。担任の世界史の野崎先生のロードショー解説。映像が見える。素晴らしい語り。「シャレード」は謎とき、日曜に銀座へ行った友の「Kグランド素敵」の明るい会話。

赤巻紙を開くと、職員室の一人担任との個人面談。「今、何を讀んでるの」と津田先生。「ハイ、リルケの『マルテの手記』です」「あんな難しいの讀んでるの」まだ、これから。靴から文庫を取り出す。先生はスラスラと暗唱された。「他には」「ハイ、『エーゲンの東』を」と加州サリーナス溪谷の描写を静かに。魂消える、口伝の世界かスタインベックか。

黄巻紙は、乳宇学識に石坂先生から頂いたイエロカード。自主・誠実・明朗の道遙か。

広い廊下のR状の語りのコーナーでペペーをあやすママさん入学生望者の説明会に来校。向丘生活を讀えつつ未来と出会えた心地。

夢気分から覚め、エレベーターが開くと、先生が扉の外に。職員室へ行き原稿用紙を渡された。繁村先生との出会いが、五十周年記

念式典と落成披露パーティーの招待の光栄に。

平成十年十月十日は、偶然クラス会が同日駒込思い出川であった。記念誌を皆に回覧する。

式典で校歌を歌おうとしたり、涙々になる。卒業生休憩所は図書室。念願が叶って本たちと再会。

裏表紙に貸出票の拙い自筆サイン。パーティーで、杖をつかれた御高齡の校長先生をおみかけする。

思いきってお声がけをしたら、名刺をくださった。イエロが白に変わった瞬間。誤解も謎も、きれいに氷解してしまった。

年が明けて、平成二十九年、秋に七十周年を迎える向丘高等学校に乾盃。私もお陰様で古希。あの頃の遠い未来にいて、楽しく回想できる幸運をかみしめる。有難うございます。



スリランカを旅して

昭和四十七年卒

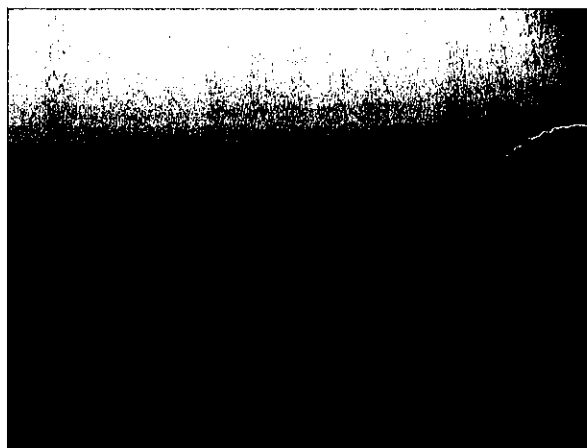
佐々木(遠野) 郁子

昨年の年末、冬の東京から常夏のスリランカに出かけました。夫の、「美味しい紅茶が飲みたい」という希望で計画した旅行でした。

スリランカは北海道と九州の間位の国土に約二千万人の人が暮らしています。二千四年のスマトラ沖地震の際の津波では三万人以上が亡くなり、二千九年まで二十年余り内戦が続いた国です。公用語はシンハラ語・タミル語・英語で、国民の七十%が仏教徒です。

ガイドブックで以上の簡単な知識を仕入れてから到着した空港では、赤道に近い国らしい熱帯の湿気を含んだ暑さに圧倒されました。時刻は夕方です涼しくなり始めた頃だったのですが、日本から着てきたタートルネックは早速お役御免となりました。

また、発展途上の国なのでインフラ面で整わない部分があり、ホテルでも突然停電したり、道路が未整備だったりしましたが、総じて街には活気があり、車の数も多く、その車も他の国でよく見受けられ、たような廃車寸前の車は全くなく、豊かな感じられる国でした。都



市部も農村部もゴミのない清潔な環境が維持されていて、当初カレーの続く食事でお腹を壊すのではないかと懸念していましたが、逆に太ってしまったほど美味しいものばかりでした。カレーは確かに三食続くのですが、ココナツ風味でマイルドです。街中のファミリールレストランでもピュッフェが中心なので、色々なおかずを選ぶことができ、実に楽しい食生活でした。

シギリヤロック・ポロンナルワ・タンブツラ石窟寺院とガイドブック曰く、押さえておくべき見どころはどこも素晴らしく、旅の終わ

りにどこが一番良かったかと思いつ返しても、どこ一つだけ選ぶことができない位でした。

東京に戻って一週間になります。出が蘇ります。シギリヤロックの頂上からはるか先まで続く緑の大地を見下ろした時はお祈りなで風キャンデイの仏歯寺でお祈りの時間に合わせてお参りに押し寄せる人々が捧げ持つお供えのジャスミンのむせかえるような強い香り、夜明けの時間に合わせて出かけたワールズ・エンドで朝露をうけて銀色に輝いていた草。それからもう一つ、飛行機の中で飲んだ紅茶のおいしかったこと！



創立70周年記念式典及び祝賀会

1. 式典

- ① 日時 29年9月29日(金) 午後2時頃
- ② 場所 文京シビックホール
- ③ 参加対象 在校生、先生方、PTA、同窓会、招待者・関係者
- ④ 記念式典 式典、記念講演 酒井俊幸氏(東洋大学駅伝部監督) 記念誌、記念品

2. 祝賀会

- ① 日時 29年9月29日(金) 午後6時予定
- ② 場所 上野東天紅
- ③ 参加対象 上記参加対象者から希望者
- ④ 会費 6,000円 予定

3. 同窓会より

- ① 実行委員長 宮久保渡同窓会会長
- ② 贈呈品 グランドピアノ

4. 同窓会員で上記に参加を希望される方は、宮久保までご連絡ください。

TEL: 090-4597-0475

E-mail: miyakubo1405@yahoo.co.jp

H P: http://www.mukougaoka-yayoikai.jp/



宮久保会長

古仲 PTA 会長

乗原校長

その他の報告事項

学校との共催で、在校生への

キャリア教育講演会

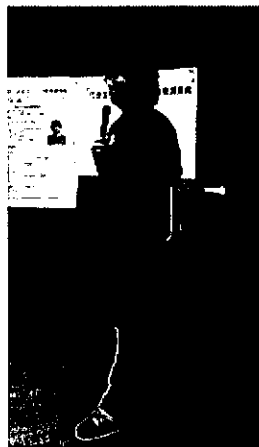
二十八年七月十九日

於いて 六階多目的ホール

千田 正穂氏

(昭和四十三年卒)

フリーアナウンサー、
元NHKアナウンサー



「向丘から人生の全てが始まった」
「どんな壁ものりこれならいられない事はない」
ご本人の高校時代時代に社会に出て活動する原点の言葉を戴きました。

高校を卒業し、社会に出ても「無理と思わない」「絶対的目標を持ち、大丈夫・大丈夫」「運が良いと思っている人にチャンスが増える」と考え、実践する事で目標を実現できる。旨の講演をされました。

二回に分けて、講演されて、約六〇〇名の生徒の皆さんは、熱心に聞いていました。

その後のアンケートでも、生徒達より、講演内容を積極的に受け止めた感想が多くありました。

全国大会(宇都宮大会)報告

宇都宮大会は、二十八年五月二十二日(日)宇都宮市内で開催いたしました。当日は、同窓会(栃木幹事十二名、栃木県在住一名)で開催されました。参加者が少なく、寂しかったのですが、交流を深めることが出来ました。有難うございました。(栃木県在住の方に呼び掛けのハガキを出しました)学校と同窓会の近況報告をし、それぞれの方から自己紹介と近況報告をしました。皆様には、今後とも同窓会へのご参加をお願いします。

今年、埼玉県川越市で開催致しますので、埼玉県在住の方及び希望者のご参加をお願いします。



体育祭



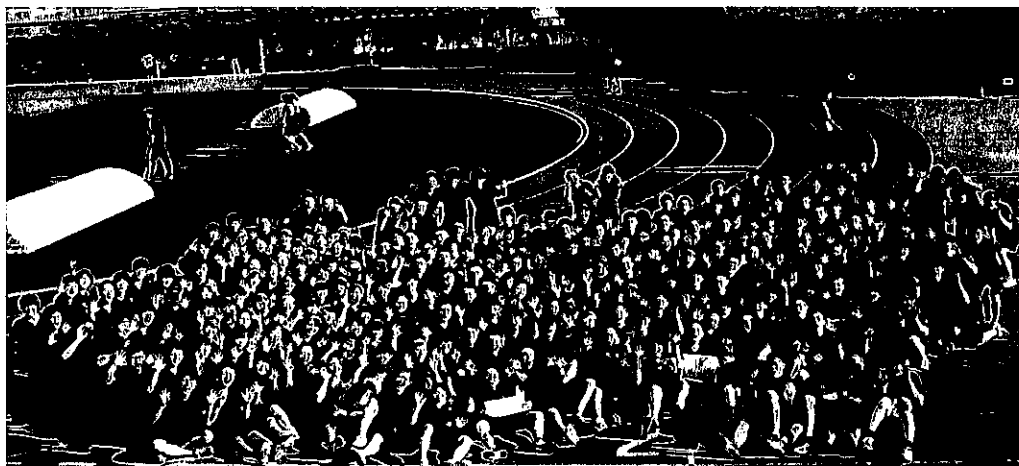
棒倒し



荒川の渡し



ムカデリレー



全員で

向 陵 祭

向丘大賞
優秀賞



昨年とはまた違った味のあるダンス部になっています。色々なジャンルが見られるようにしました！人数が多いので合わせるのに苦労しました。

優秀賞



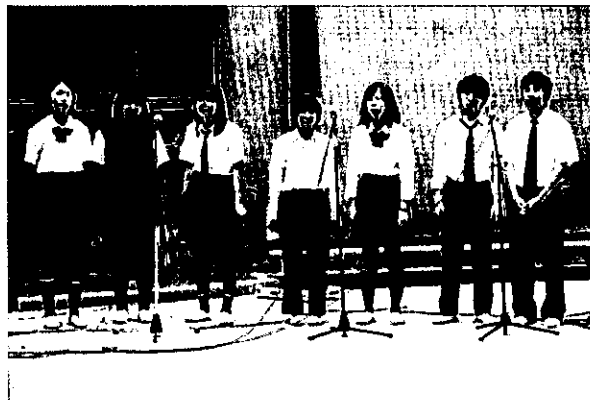
ハイスクールミュージカルの全員の息がぴったり合いました。

優秀賞



思ったより盛り上げて良かったです。また来年もぜひ。

校長賞



みどころ…七人の素敵なハーモニー！
工夫したところ…一曲一局に感情をこめて歌いました。
苦労したところ…各パート、個人の曲の入りのタイミングがむずかしかったです。

寄付者・会費納入者一覧



平成28年度中に寄附金・年会費をお振込頂いた方々です。(敬称略)
尚、3,000円以上の納入は寄付者扱いとして掲載させて頂きました。
ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。
尚、記載漏れがありましたらご連絡下さい。(29年1月末日)

寄付者名一覧

- ◆PTA会長 古仲 和美
- ◆旧職員 井口 磯夫
- 池永 武昭
- 石井 隆夫
- 板井 哲夫
- 北村 正生
- 北村 透
- 新城 泉
- 神能 精一
- 関根 茂
- 戸谷 賢司
- 中荃 久男
- 前園 実
- ◆現職員 来原 蘭
- 杉淵 明子
- ◆昭24年卒 須賀 和子(小川)
- ◆昭26年卒 新海 節子(武藤)
- ◆昭28年卒 清水 陽子(杉山)
- 齋田 恒彰
- 早船セツ子
- ◆昭29年卒 大西 弘明
- 関 紀子(入江)
- 武内 恭一
- ◆昭30年卒 荒井千代子(加藤)
- 稲葉 イト工
- 岡崎 紀幸
- 櫻村 圭子(八幡)
- 利根川幸也
- 前田 信子(山本)
- ◆昭31年卒 小川 力洋
- 加藤 慶子(純浦)
- 川端 春生(三橋)
- 木村 隆
- 高尾 和子(杉本)
- 増子 明美(若生)
- 三田 昌男
- 山本 越子(福水)
- ◆昭32年卒 金沢 英夫
- 河野 友磨

- 櫻井 弘清
- 佐藤 元是
- 津坂 敬子(石神)
- ◆昭34年卒 龍見 昌子(柴田)
- 永田 正博
- ◆昭35年卒 五十嵐光俊
- 江藤 鉄兵
- 金子 操子(杉瀬)
- 久保 雄南
- 友部 佳子(立川)
- 能州 良彦
- 森 正樹
- ◆昭36年卒 我妻 真典
- 岩井 和子(大野)
- 遠藤 泰紀
- 勝又能富子(桑原)
- 田中 正明
- 浜口 宗武
- 松垣 宏道
- 安村 章
- ◆昭37年卒 勝部 邦彦
- 齋 巖
- 寺村 光司
- 宮下紀恵子
- ◆昭38年卒 小野 勲
- 鎌倉 博子(橋場)
- ◆昭39年卒 荒川 正
- 湯浅美保子(奈良)
- ◆昭40年卒 井上 芳子
- 内田 淳子(青木)
- 大西 政男
- 小山由記子(吉田)
- 新谷 重子(小沢)
- 杉浦 重治
- 尾道 郁代(大橋)
- 長谷川三枝子(原)
- 原 淑子(近藤)
- 溝口 進一
- 吉田 恵子
- ◆昭42年卒 岩崎 芳秋
- 菊池 武博
- 塚本 悦子(中野)
- 米谷 省吾
- 皆川 和美
- ◆昭43年卒 石川 明枝(石川)
- 榎本 裕子(高橋)
- 大野 恵子
- 湖山 均
- 鈴木 幹夫
- ◆昭44年卒 常岡 徑子(須田)
- ◆昭45年卒 金澤 信子
- 仙谷 剛
- 高市 敏雄
- 宮久保 渡
- 山口 義朗
- ◆昭46年卒 恩村 一郎
- 笹山 幸子
- ◆昭47年卒 佐川 海道
- 佐々木郁子(遠野)
- ◆昭48年卒 遠藤 清孝
- 久保田郁子(加藤)
- 本多 和子(国分)
- ◆昭49年卒 奥山 房男
- ◆昭51年卒 萩谷 忠
- 渡辺 稔(木村)
- ◆昭52年卒 吉松 純
- ◆昭55年卒 浅野 雄一
- 新井 清一
- 浦野 良一
- ◆昭58年卒 旗野 敏弘
- ◆昭59年卒 千田二仁江(樋口)
- ◆昭61年卒 今井美代子(清水)
- ◆昭63年卒 目黒 利枝(菊池)
- ◆平元年卒 横山 信夫
- ◆平5年卒 高橋 康隆
- ◆平16年卒

会費納入者名一覧

- 糸岡 紗央里(三橋)
- 糸岡 達也
- ◆平22年卒 高崎さつき
- ◆平27年卒 伊藤 瑞生
- ◆昭24年卒 井上 早苗(阿部)
- 高木 芳江(高木)
- 永井 節子(小龍)
- 針谷 数枝(坂本)
- 堀田 恵津(山田)
- ◆昭25年卒 恩田富美子(恩田)
- 杉田 愛子(野村)
- ◆昭27年卒 太田 きよ(太田)
- 菊池 博子(黒川)
- 児玉 恵子(児玉)
- 酒井美代子(馬場)
- 瀬戸口弘子(馬場)
- 津雲 貞子(中沢)
- ◆昭28年卒 長谷川千代(中沢)
- ◆昭28年卒 岩松 英子(塚田)
- 内山 昂子(豊田)
- 江島 きく(荒川)
- 小林 梅子(山本)
- 竹内佐代子(山本)
- 中村 弥生
- ◆昭29年卒 小林 輝美(高木)
- 阪田 律子(阪田)
- 鈴木 穂子(山崎)
- 星 直正
- ◆昭30年卒 上田 明
- 緒方 素之
- 久野 裕
- 曾根 尚郎
- 棚瀬 妙子(佐藤)
- 中川 貴子(山崎)
- 長縄 信孝
- 中村 素子(河野)
- 福原 淑子(野口)
- 若木 康孝
- ◆昭31年卒 池野 通(高橋)
- 大田百合子(英)
- 佐藤江江子(森)
- 鈴木やす代(瀧美)
- 塚本トメ子(佐藤)
- 山田 晃
- 松居 和子(釘宮)
- ◆昭32年卒 岡本 照子(中川)
- 小西 圭子(城)
- 滝沢 都子(吉田)
- 春井喜巳子(勢田)
- 筒井 園子(勢田)
- 藤沢寿美子(竹内)
- 吉川八重子(篠崎)
- ◆昭33年卒 伊藤 康晴
- 小林 清明
- 中河 健男
- ◆昭34年卒 浅利 拓哉
- 植山榮次郎
- 江守 雅美(梅田)
- 乙部たみ子(新名)
- 鹿島 節子(畠田)
- 金子 泰代(野中)
- 栗田 誠吾
- 若口 雅子
- 古林 徹
- 菅柳 丹
- 笹沼 芳子(五十嵐)
- 鈴木 恵子(戸川)
- 藤崎寿美江(岩田)
- 藤田 皓一
- 本多 重行
- 三木 桃子(竹谷)
- 壬生田紀夫(三浦)
- 村木 豊彦
- 森本 敏子(太田)
- 山北 宣久
- ◆昭35年卒 池辺 弥生(星野)
- 大久保圭子(大久保)
- 大高 勝子(関)
- 清水 幸明
- 永沢 治子(山本)
- 三浦みさ子(江島)
- 山本 一智(高橋)
- 石黒 寿子(八木)
- ◆昭36年卒 奥村 誠
- 倉持 俊義
- 田中 正明
- 寺尾ヒロミ
- 村上 光由
- ◆昭37年卒 今村春江(星)
- 小黒 由明
- 片岡 邦枝
- 鈴木多可子(浅賀)
- 永井 良子(樋口)
- 南方 洋子(富田)
- 野口寿美子(細野)
- 福永 邦彦
- 宝珠山邦子(近藤)
- 牧野 進
- 益本 睦(小木曾)
- 山口 洋子(上野)
- 渡辺 光寛
- ◆昭38年卒 太田 和子(豊田)
- 桜井 昭子(筒山)
- 武政 征子(塚田)
- 谷口 昭夫
- 宮澤 博子(奥津)
- ◆昭39年卒 上野美江子(中村)
- 加藤 明子(大山)
- 北田 照子(大山)
- 藤尾 誠
- 盛岡 治英
- ◆昭40年卒 相澤 妙子(戸川)
- 秋山 浩一
- 石田美智子(村田)
- 海和 秀男
- 小林 陽二
- 斎藤由紀雄
- 斎藤 紀子(栗嶋)
- 澤田 孝子(藤村)
- 椎名 街子(須田)
- 篠崎 美幸
- 相馬久美子(阪田)
- 高橋 和子(新川)
- ◆昭41年卒 青木 紀子(五十嵐)
- 井村 忠
- 川添奈津子
- 坂井 右紀
- 杉 泰子(池村)
- 杉山 雅之
- 千葉 家門
- 原口 秀子
- 福原喜久枝(新井)
- ◆昭42年卒 橘川 道雄
- 榎田 照良
- 佐古岡まさみ(畑中)
- 菅 完治(斎藤)
- 永井すま子
- 渡邊 貴信
- ◆昭53年卒 中沢香代子(近間)
- ◆昭55年卒 大花 博光
- 佐藤 毅
- 中野 仁史
- ◆昭56年卒 武智 弘英
- ◆昭58年卒 梓澤 秀昭
- 林英子熊谷
- ◆昭59年卒 今井 真一
- ◆昭60年卒 内田 明美(内田)
- ◆昭61年卒 金澤 祐
- ◆平元年卒 山元 平太
- ◆平5年卒 雨宮 直子
- ◆平10年卒 高橋 美法
- ◆平11年卒 吉田 宗弘
- ◆平16年卒 三輪 大雅
- ◆平21年卒 浅野 悠樹
- 川島 清次
- 辻 薫
- 横山久美子
- ◆昭50年卒 大西 絹子(田口)
- 楓 友寿
- 永井すま子
- 渡邊 貴信
- ◆昭53年卒 中沢香代子(近間)
- ◆昭55年卒 大花 博光
- 佐藤 毅
- 中野 仁史
- ◆昭56年卒 武智 弘英
- ◆昭58年卒 梓澤 秀昭
- 林英子熊谷
- ◆昭59年卒 今井 真一
- ◆昭60年卒 内田 明美(内田)
- ◆昭61年卒 金澤 祐
- ◆平元年卒 山元 平太
- ◆平5年卒 雨宮 直子
- ◆平10年卒 高橋 美法
- ◆平11年卒 吉田 宗弘
- ◆平16年卒 三輪 大雅
- ◆平21年卒 浅野 悠樹

運営費にご協力をお願いします
会活動活性化に向け、ご提案・ご寄付・年会費等
のお振込みを、ご協力お願い申し上げます。

平成28年度 総会資料
都立向丘高校同窓会

平成28年4月24日(日)
於 駒込「磯太郎」

《 報 告 事 項 》

【事業報告】平成27年度分

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1 役員会(幹事会)

1127年 4月11日(土)

会計監査会 7名参加 於 駒込「磯太郎」

1127年 8月29日(土)

幹事会 10名参加 於 成光苑

2 総会/懇親会

於 駒込「磯太郎」

1127年 4月26日(日)

12:00～12:30

報告事項・決算、事業計画・予算案、役員案すべて、満場一致承認 50名参加
12:30より懇親会。自己紹介などで多
いに盛り上がりました。

会報26号2項参照

3 研究活動(全国大会)

1127年 5月24日(日)

山梨県甲府市大会 12:00～

11名参加 於 市内割烹

会報26号11項参照

1127年 9月12日(土)～13日(日)

向陵祭に写真作品を出展

於 母校3階会議室「田中・小川両氏」

土曜日にOB・役員参観あり、5名。

4 ホームページの充実について

①実務打合せ(メンバー 宮久保・仙谷・日黒・
椎名)3回開催

5 会報関係について

1127年12月5日(土)

会報企画打合せ会

10名参加 於 源気丸

1128年 1月9日(土)

「やよい」編集委員会

10名参加 於 源気丸

1128年 1月13日(水)

「やよい」編集委員会

2名参加 於 タカセ

1128年 2月6日(水)

「やよい」校正委員会

2名参加 於 タカセ

3月6日(水)卒業予行会に配

布できるよう母校に搬入した。1200部
(在校生750、新入生250、学校等)

6 渉外関係

1127年4月7日(火)入学式に宮久保会
長・小川名誉顧問と田中相談役が参列した。
於 母校体育館

5月9日(土)PTA主催の教職
員歓迎会 宮久保会長・小川名誉顧問・
仙谷幹事長参加

於 ホテルメトロポリタン飯田橋

1127年11月28日(土)PTA・OB会

主催の懇親会 宮久保会長・小川名誉顧

問・佐々木書記参加

於 香川栄養大学「松柏軒」

1128年3月11日(金)卒業式準備会に

宮久保会長が卒業生に挨拶をした。

1128年3月12日(土)卒業式に宮久
保会長と小川名誉顧問・田中相談役が参列
した。

於 母校体育館
1128年3月12日(土)PTA主催の卒
業式を祝う会に宮久保会長が参加した。

於 本郷レストラン
学校運営協議会に、宮久保会長、田中相談
役参加、年2回

7 生徒への応援

1127年12月22日(火)学校との共催
で、OBによる進路講演会を開催

40年卒 鳥飼重和氏

会報26号12項参照

8 卒対関係

1128年3月4日(金)第66回卒業生
の入会者275名(卒業生全員)について、
入会記念品としての個人用特注印鑑を予行
日に各組担任先生からお渡しを戴いた。

【決算報告】

左記決算報告のとおり

《 審 議 事 項 》

【事業計画】案 平成28年度分

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1 総会・懇親会開催の件

やよい27号4頁参照①

H28年4月24日(日)

2 全国大会・やよい会

栃木県宇都宮大会開催の件

やよい27号4頁参照②

H28年5月22日(日)

3 ホームページの充実

ホームページを充実させるため、努力をし
ます。

①同窓生の同期会・クラス会・クラブOB会

など多くの情報を載せ、発信します。

②既発行分の「やよい」掲載をします。

③卒業写真など、掲載していきます。

4 向陵祭参加とホームカミング開催の件

やよい27号1頁参照③

向陵祭1128年9月10日(土)～11日(日)

5 同期会・クラス会等への通信費の助成、各

期の住所をお知らせします

同期会開催へ2万円を補助。クラス会・クラ

ブOB会にも補助。報告文を受け取り次第、

代表幹事の指定口座宛お振込致します。会合

の集合写真等を添えて宮久保会長宛速やかに

郵送して下さい。

6 広報誌の発行と発送(会員相互の意思の疎

通を図るため)

平成29年3月に「やよい」27号発行の予

定(会員・クラス会・同期会等の適切な投稿

を歓迎)。原稿締め切りは1月末とする。

7 新卒業生の入会者に記念品特注印鑑セット

を贈呈する。

8 在校生に対する応援事業

クラブ活動などに助成。学校・PTAと協力し、

OBによる在校生への講演会等の開催。

9 年会費、寄付金ご協力のお願い

新卒者の入会金の殆どは会報関係に充当。年

会費は1口¥1,000～¥2,000程度運

営費としてご協賛をお願い致します。

年会費込み3,000円以上の送金は寄付金

扱いと致します。

10 70周年準備会

創立70周年に向け、学校及び在校生に向け、

記念になるものを送ります。具体的には、学

校及びPTAと相談して進めます。

11 次期定期総会の件

やよい27号紙上に発表予定

【予算】案 左記予算案のとおり

平成27年度会計報告及び及び平成28年度予算

都立向丘高等学校同窓会
平成28年3月31日

	27年度決算		28年度予算	
	金 額	金 額	金 額	金 額
収入の部				
入 会 金 (⑧8,000円)	2,144,000		2,200,000	
年 会 費 (含寄付金)	877,000		800,000	
総 会 懇 親 会 費	106,000		100,000	
全 国 大 会 費	36,000		100,000	
諸 会 費 収 入	37,000		30,000	
雑 収 入	0		0	
前 年 度 繰 越 金	2,782,868		2,817,702	
収 入 合 計	¥5,982,868		¥6,047,702	
支出の部				
全 国 大 会 関 係 費	146,280		150,000	
交 通 費	92,050		100,000	
通 信 印 刷 費	149,078		200,000	
会 議 費	119,509		150,000	
総 会 懇 親 会 費	168,309		150,000	
催 物 関 係 費	48,528		50,000	
慶 弔 費	0		100,000	
研 究 活 動 費	94,094		100,000	
振 興 助 成 費	96,000		100,000	
会 報 関 係 費	1,700,000		1,750,000	
渉 外 費	48,393		50,000	
改 発 費	152,790		300,000	
生 徒 激 励 費	0		100,000	
卒 対 費	98,200		100,000	
周 年 準 備 費	250,000		250,000	
雑 費	4,935		10,000	
支 出 合 計	3,168,166		3,660,000	
次 年 度 繰 越 金	2,817,702		2,387,702	
総 合 計	¥5,982,868		¥6,047,702	

周年準備金積立合計 ¥1,000,000

ゆうちょ銀行 10170-1750501 口座名 やよい会

通常貯金残高 ¥1,317,702 定期貯金残高 ¥2,500,000

上記の通り収支報告申し上げます。

平成28年4月24日

同窓会会長

宮久保 渡

会計

尾道 郁代 笹山 幸子

監査の結果誤りの無いことを認めます。

平成28年4月17日

監事

三田 昌男 櫻井 弘清

同窓会役員名簿

平成29年(2017)年1月20日現在

顧問	新城 昇	歴代校長
"	池永 武昭	"
"	北村 透	"
"	北村 正生	"
"	石井 隆夫	"
"	戸谷 賢司	"
"	前園 実	"
"	関根 茂	"
"	神能 精一	"
名誉会長	栗原 爾	校長
名誉顧問	小川 力洋	31年卒
会長	宮久保 渡	45年卒
副会長	杉浦 重治	40年卒
副会長兼会計	尾道 郁代(大橋)	41年卒
幹事長	仙谷 剛	45年卒
書記兼会計	笹山 幸子	46年卒
書記	佐々木 郁子(遠野)	47年卒
"	今井 美代子(清水)	61年卒
"	目黒 利枝(菊池)	63年卒
会計監事	三田 昌男	31年卒
"	櫻井 弘清	32年卒
西日本地区幹事	高尾 和子(杉本)	31年卒
新潟地区幹事	小山 由記子(吉田)	40年卒
仙台地区幹事	吉田 恵子(吉田)	41年卒
静岡地区幹事	増子 明美(若尾)	31年卒
茨城地区幹事	友部 佳子(立川)	35年卒
札幌地区幹事	恩村 一朗	46年卒
事務局	杉渕 明子	副校長
相談役	川端 春生(三橋)	31年卒
"	田中正明	36年卒

各期幹事

- 星 直正 29年卒
- 居村 正久 31年卒
- 友部 佳子(立川) 35年卒
- 井上 芳子 40年卒
- 坂井 右紀 41年卒
- 谷嶋二三男 41年卒
- 戸部 実 44年卒
(minorutobeaddress@gmail.com)
- 粕谷 卓志 45年卒
- 中村恵太郎 45年卒
- 大場 孝秋 46年卒
(spw99fy9@key.com.ne.jp)
- 佐川 海道 47年卒
- 斉藤 明良 48年卒
- 浦野 良一 55年卒
(ru0316@i.softbank.jp)
- 浅野 悠樹 61年卒
- 岩田 隆英 H6年卒
(iwatasana@gmail.com)
- 横山 李孝 H1年卒
(soutakento@gmail.com)

クラブOB会世話人

- 軟式テニス部 谷嶋二三男(41年卒) f-tanisima@ac.auone_net.jp
- テニス部 長谷川広之(51年卒) h09089490725@mopera.net
- サッカー部 仙石 剛(45年卒) tsuyoshi.senya@gmail.com
- フォークソング部 関本 知恵(52年卒) s.chie.tukushi@gmail.com

計 報

心よりご冥福をお祈り申し上げます。
ご報告のありました方のみをお知らせしております。

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 中荃 久男(旧職員) H27. 1. 16 | 奥田 蕃 S31年卒 H27. 7. 30 |
| 麻嶋格次郎(旧職員) H27. 2 | 水津 信雄 S31年卒 H25. 4. 15 |
| 吉田 善雄(旧職員) H27. 10. 16 | 神保 光由 S32年卒 H2 |
| 須賀 和子 S24年卒 H27. 7. 17 | 石山彼早子 S34年卒 H28. 12 |
| (旧姓 小川) | 小松原よしゑ S34年卒 |
| 鈴木志づ子 S24年卒 H27. 12. 27 | 山田 統二 S40年卒 H28. 11 |
| (旧姓 藤井) | 村瀬 正平 S41年卒 H26. 11. 27 |
| 白井 脱子 S26年卒 H27. 8. 21 | 中村真知子 S45年卒 H27. 8. 21 |
| 安江 照子 S28年卒 | 中野 久子 S47年卒 H22. 3 |
| (旧姓酒井) | (旧姓大塚) |
| 小栗 隆 S29年卒 H27. 8. 30 | 堀江 玲子 S48年卒 |
| 山内不二太郎 S29年卒 H27. 10. 22 | 田村 智子 S51年卒 H27. 7. 18 |
| 山本 晴代 S30年卒 H8 | 村上 真一 S58年卒 H28. 2. 4 |
| (旧姓山口) | 榎本 法子 H6年卒 H25. 9 |